

第一生命グループの事業

第一生命グループは、生命保険事業(引き受け・販売)を中核として、保険事業を遂行していく上で必要な事業、資産運用関連事業等を行っています。

近年は、国内の生命保険事業の取り組みを強化するとともに、アジア地域を中心としたグローバルな事業展開を進めています。さらに、国内の人口構造変化に伴いニーズが高まりつつある個人貯蓄分野において第

一フロンティア生命を設立するなど、社会環境の変化に応じて成長が見込まれる事業に積極的に投資を行っています。

また、業務提携先と強力なパートナーシップを形成して、お客さまの「生涯設計」に資する損害保険・がん保険・その他金融商品・サービスを幅広く提供しています。

第一生命グループの事業領域と業務提携先

生命保険事業・保険関連事業

保険契約の引き受けおよび保険料の運用等を中心とする保険事業、これらに密接に関連する保険関連事業を行っています。

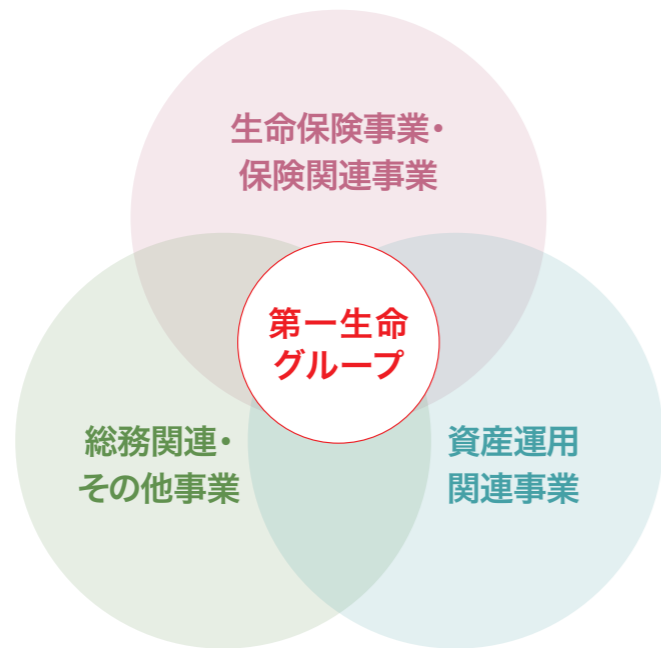
生命保険事業

- 国内生命保険事業**
- 第一生命保険
 - 第一フロンティア生命保険

- 海外生命保険事業**
- 第一生命ベトナム (ベトナム)
 - タワー・オーストラリア・グループ (オーストラリア)
 - スター・ユニオン・第一ライフ (インド)
 - オーシャンライフ (タイ)

保険関連事業

- 企業年金ビジネスサービス等



資産運用関連事業

国内外において投資運用・投資助言事業、有価証券投資事業、銀行業等、資産運用関連事業を行っています。

- DIAMアセットマネジメント
- ジャパンリアルエステイトアセットマネジメント
- ジャパンエクセレントアセットマネジメント
- ネオステラ・キャピタル
- 資産管理サービス信託銀行等

総務関連・その他事業

総務関連事業、計算関連事業、調査・研究事業等、当社が保険事業を遂行していく上で必要な事業を行っています。

- 第一生命情報システム
- 第一生命経済研究所
- みずほ第一フィナンシャルテクノロジー等



業務提携先

<p>損害保険ジャパン</p> <p>包括業務提携により生損保両分野をはじめとした互いの強みを活かし、「最強・最優の総合保険グループ」を目指しています。</p>	<p>アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)</p> <p>業務提携により対等なパートナーとして互いの強みを活かし、「(保険の)第一分野と第三分野の最強のパートナーシップ」を目指しています。</p>	<p>みずほ フィナンシャルグループ</p> <p>金融商品・サービスの相互補完、資産運用・管理業務、合併会社設立等において緊密に連携しています。</p>	<p>りそな ホールディングス</p> <p>保険分野を中心とした業務分野において、高度化・多様化するお客さまニーズに対して、より良い商品・サービスの提供を協調して行っています。</p>
---	---	--	--

2008-10年度中期経営計画「Value up 2010」

当社は、2008年度からの3カ年計画である中期経営計画「Value up 2010」のもと、持続的な企業価値の創造に向けた取り組みを進めています。2010年度は、3カ年計画の最終年度であるとともに、株式会社化後の初年度として「新創業」の年と位置付け、以下の取り組みを実行していきます。

品質保証と生産性向上による成長への基盤固め

中核事業である営業職員による生命保険事業では、営業職員の育成・個人能率の向上への取り組みを一層推進することによる販売力のさらなる強化、医療保障分野をはじめとした魅力ある保険商品の提供を通じ、お客さま満足の向上を図り、企業価値の向上を目指します。また、事業規模の変化に応じた競争力あるコスト構造の確立に向けて事業費効率の改善を進めます。

国内における医療保障商品や個人年金保険等の貯蓄性商品の販売、生命保険市場の拡大が見込まれるアジア地域を中心とした海外の生命保険事業への取り組みを推進し、さらなる企業価値の向上を目指すとともに、内部管理態勢の強化を図ります。

強固な財務基盤の確立および資本効率の向上

経営環境の変化に対応できるよう、リスクコントロールの強化や各事業分野における生産性向上により、財務健全性の維持・向上を図ります。

公開会社としての内部管理態勢確立

公開会社にふさわしい企業グループとしての基盤整備、内部管理態勢のさらなる強化に取り組んでいます。具体的には、適時・適切な情報開示の徹底や国際会計基準への対応等に加え、法令遵守態勢・リスク管理態勢の一層の強化を図ります。

「人財」が成長を支える態勢の確立

当社グループにとって、最も重要な経営資源は人であり、「人財」こそが競争力の源泉と考えています。従業員一人ひとりの価値を高めるための取り組みを積極的に推進しています。

お客さまに保険金・給付金をお支払いするときこそが保険の役割が果たされるとき

生命保険は相互扶助の仕組みで成り立っており、生命保険に加入することにより、負担を最小限に抑えながら、遺族の生活資金や老後の備え、介護・病気・ケガなどに対する保障を準備することができます。そして、保険会社から支払われる保険金・給付金は多くの人々の生活を支えています。

1年間に民間生命保険会社から支払われる保険金・給付金・年金は約25兆円にのぼります。当社では約1兆8,000億円、1日当たり49億円をお支払いし、お客さまのお役に立っています。

当社は、この生命保険の社会的役割を自覚しつつ、持続的な発展を通じて、お客さまから最も支持される生命保険会社を目指していきます。

保険金・給付金・年金のお支払状況(2009年度)

	民間生保	第一生命
保険金	188,297億円	7,770億円
給付金	40,259億円	5,338億円
年金	25,584億円	4,787億円
合計	254,142億円	17,895億円
1日当たりお支払額	696億円	49億円